

# ヤバレジ

だれもが最初はヤバレジだった  
 聖路加チーフレジデントが  
 あなたをできるレジデントにします!

聖路加国際病院 血液内科部長 監修 ● 岡田 定  
 聖路加国際病院 内科チーフレジデント 執筆 ● 水野 篤 浅野 拓  
 山口典宏 小林大輝

**ヤバレジ**：研修1年目レジデント。まだまだ勉強不足。そのとばかりに周囲はやや呆れ気味。  
**チーフレジ**：内科チーフレジデント。2人をフォローし、わかりやすく指導する、頼れる存在。  
**デキレジ**：研修1年目レジデント。基本的な知識はあるが、ピットフォールにはあまりがち。  
**アテンディング**：指導医。レジデントのみんなを、やさしく、ときに厳しく見守る。

連載 第3回

## 嘔気・嘔吐と制吐剤 ～オエオエ気持ち悪いんです！～

浅野 拓

-  **First Step**：マズイ嘔気を見逃さない
-  **Second Step**：嘔気がどこからくるかわかる
-  **Third Step**：制吐剤をうまく使える

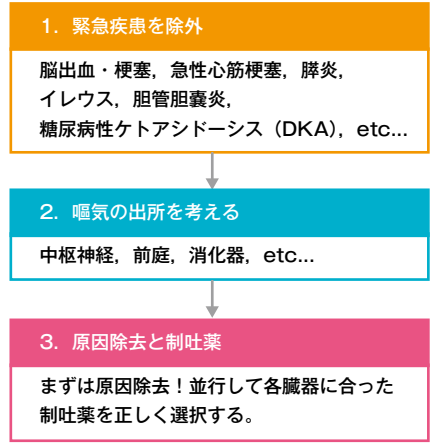
### First Step：マズイ嘔気を見逃さない

「気持ち悪い」→「胃腸が悪い」ではない

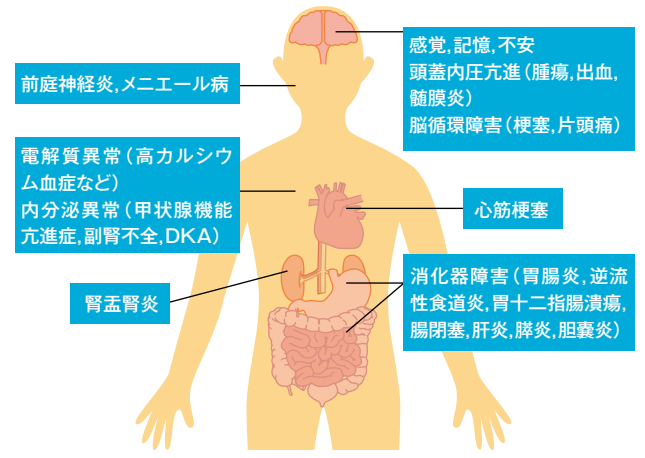
消化器の問題だけでなく、中枢神経疾患、内分泌疾患、心臓疾患でも嘔気が出現する。

よくある嘔気にも怖い病気が隠れていることがある

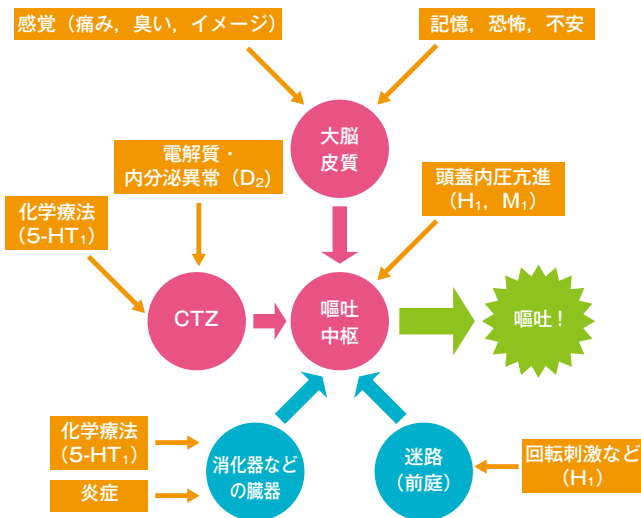
胃腸炎で気持ち悪くなるだけではなく、腸閉塞、胆嚢炎、脳梗塞、急性心筋梗塞など見過ごしてはいけない疾患でも嘔気が前面に出ることがある。



嘔気・嘔吐をみたときの3ステップ



嘔気・嘔吐の原因となるもの



嘔吐のメカニズム  
赤が中枢性嘔吐、青が末梢性嘔吐。

## Second Step : 嘔気がどこからくるかわかる

### 嘔気には中枢性と末梢性がある

中枢性は「頭」からくる嘔気。末梢性は「消化管」「前庭」などの中枢神経以外からの嘔気をいう。

### 見るからに胃腸炎でもきちんと考える

目の前の嘔気・嘔吐の患者が、どうして吐いているかメカニズムをきちんと考える。そうしなければ、原因除去と有効な制吐剤を選択できない。

受容体	拮抗薬	分布
アセチルコリン (M <sub>1</sub> ) 受容体	ブスコパン <sup>®</sup>	嘔吐中枢
ドパミン (D <sub>2</sub> ) 受容体	プリンペラン <sup>®</sup> , ナウゼリン <sup>®</sup> , ノバミン <sup>®</sup> , セレネース <sup>®</sup>	CTZ, 消化管
ヒスタミン (H <sub>1</sub> ) 受容体	トラベルミン <sup>®</sup> , ドラマミン <sup>®</sup>	嘔吐中枢, 前庭神経核
セロトニン (5-HT <sub>3</sub> ) 受容体	カイトリル <sup>®</sup> , ゾフラン <sup>®</sup> , セロトーン <sup>®</sup>	嘔吐中枢, CTZ, 消化器
ニューロキニン(NH1) 受容体	イメンド <sup>®</sup>	疑核周辺部網様体

各受容体と拮抗薬

## Third Step : 制吐剤をうまく使える

### 制吐剤の前にまずは原因除去

嘔気・嘔吐の原因を考えてその原因を取り去れば、制吐剤は必要ないこともある。

### 制吐剤が作用するレセプターを覚える

嘔気に関するレセプターは、①アセチルコリンレセプター、②ドパミン (D<sub>2</sub>) レセプター、③ヒスタミン (H<sub>1</sub>) レセプター、④セロトニン (5-HT<sub>3</sub>) レセプター、⑤ニューロキニン (NK1) 受容体の5つがある。それぞれのレセプターに作用して制吐剤は制吐作用を発揮するので、どの臓器にどのレセプターがあるかを大まかに理解する。